

【様式】

費用便益分析の結果（一般国道329号、宜野座改良、L=2.7km）

事業の目的

「水と緑と太陽の里」をスローガンに農業と観光の調和のとれた心豊かな村づくりを推進する宜野座村であるが、同村字宜野座から字漢那にかけて、急なカーブや急勾配の箇所が複数あり、交通事故の恐れが非常に高い場所となっている。また、沿道は住宅、商店、公共施設などが密集する地域で交差点、車両乗入口も多く、幹線的機能が低下している。そこで、これらの道路事情を考慮し、将来に向けて線形改良・視距改良を行い、同区間の新たな道路づくりを進める。

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成15年度			
供用年	平成20年度			
単年便益(初年便益)	6億円	0億円	0億円	6億円
基準年における現在価値	96億円	2億円	2億円	100億円

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成15年度		
単純合計	55億円	28億円	83億円
基準年における現在価値	54億円	12億円	66億円

評価指標の算定結果

表便益比(CBR)	$B / C = 1.5$
-----------	---------------

交通状況の変化

事業名：宜野座改良

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 2.5km	交通量	[台/日]	0	8,400	
	走行時間	[分]	0	4	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	8.33	
②主な周辺道路	現道(国道329号) : 4.2km	交通量	[台/日]	6,900	5,400
		走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	19.58	12.16
	現道(県道漢那松田線) : 5.9km	交通量	[台/日]	3,500	1,000
		走行時間	[分]	10	9
		走行時間費用	[億円/年]	8.54	2.63
③その他道路合計 : 1471.3km	走行時間費用	[億円/年]	9041.95	9041.62	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1483.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	9070.07	9064.74	5.33

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：宜野座改良

